

2023 年 7 月 ブログ集

目次

7月1日	バンドプランの法改正について.....	2
7月2日	3種類のナイロンコードカッターを試す.....	2
7月3日	白瓜を初収穫.....	4
7月4日	月面反射通信を行う場合に免許される空中線電力.....	4
7月5日	占有周波数帯幅の許容値.....	5
7月6日	防除⑦・デラウェアと安芸クイーンの袋掛け.....	6
7月7日	ピオーネの袋掛けを開始.....	8
7月8日	ピオーネを環状剥皮.....	9
7月9日	9Q1ZZ Zaire (コンゴ民主主義共和国)	10
7月10日	FP/KV1J Saint Pierre & Miquelon.....	10
7月11日	ハイエースの雨漏りは修理できたけど塗装が剥げていて・・・.....	11
7月12日	太陽熱温水器設置計画.....	14
7月13日	安芸クイーンの棚下に光反射シートを敷設.....	14
7月14日	シャインマスカットの袋掛け.....	15
7月15日	鮎釣行の準備.....	16
7月16日	デラウェアの夏季剪定.....	17
7月17日	九頭竜川キャンプ初日.....	18
7月18日	九頭竜川キャンプ2日目.....	19
7月19日	九頭竜川キャンプ3日目.....	20
7月20日	九頭竜川キャンプ4日目.....	20
7月21日	九頭竜川キャンプ5日目.....	21
7月23日	九頭竜川キャンプ7日目.....	22
7月24日	九頭竜川キャンプ8日目.....	22
7月25日	九頭竜川キャンプ9日目.....	23
7月27日	九頭竜川キャンプ11日目.....	23
7月28日	ブドウの夏季剪定（安芸クイーン）	23
7月29日	ピオーネが色付き始めました.....	24
7月30日	モモの収穫とアナグマの捕獲.....	25
7月31日	ビニールの妻側を解放.....	26

7月1日 バンドプランの法改正について

今日は一日中雨だったので、ゆっくりと調べ物をして過ごしました。

現在のバンドプランは、平成 21 年総務省告示第 179 号により定められていますが、これが改正され令和 5 年 9 月 25 日から施行されることになっています。ここでは便宜上バンドプランと呼んでいますが、正式には「無線局運用規則第二百五十八条の規定に基づくアマチュア業務に使用する電波の形式および周波数の使用区分」という総務省告示です。平成 21 年総務省告示第 179 号は廃止され、新たに令和 5 年総務省告示第 80 号に代替えられることになります。出典は総務省のホームページ (https://www.soumu.go.jp/menu_hourei/s_kokuji.html) にある令和 5 年 3 月 22 日公布の総務省告示第 70 号～84 号の pdf 版です。

今回の改正では、区分がシンプルになっていて規制緩和されています。例えば、現時点の規定では 7074kHz の FT8 で国内の局と QSO することは法令違反となりますが、改正後には合法になります。

私は DX ハンティングや EME を中心にアマチュア無線を楽しんでいますので、今回の改正で運用に変化がありそうな点をピックアップしてみました。

1)10MHz 帯の FT8 など・・・10,120～10,150kHz で運用可能になる。

今は、10,128kHz に出ている DX 局と FT8 で QSO することは法令違反。

2)18MHz 帯の FT8 など・・・18,080～18,168kHz で運用可能になる。

3)24MHz 帯の FT8 など・・・24,900～24,990kHz で運用可能になる。

4)144MHz 帯の EME・・・144,020～144,200kHz で国内外を問わず EME に利用できる。

今は、JT65b など国内局と EME で QSO するには 144,020～144,100kHz を利用している。

430MHz 帯以上の EME について、私の運用実績が僅かなので殆ど影響ありませんが、細かい点で改正されているようです。

JARL では今回の法改正を反映したバンドプランを制定する動きがあるようですが、平成 21 年に告示第 179 号が施行される以前の JARL バンドプランと同様に法的拘束力はないので、いわゆる自主規制的なものになると思われます。

7月2日 3種類のナイロンコードカッターを試す

昨年初めてナイロンコードカッターを購入しました。石やワイヤーメッシュなどを気にしないで草刈できるという点が気に入っています。最初に購入したのは三陽金属の「凄楽」です。1 年も使うと地面に当たる部分が摩耗して壊れそうだったので、今年 3 月にもう 1 台購入しました。しかし、5 月下旬には 2 台目も壊れてしまいました。写真右下の 2 つの部品が壊れた状態のものです。



「凄楽」の使い方にも慣れ親しんできたところなので、もう一台買うという手もありましたが、あまりにも耐久性が無さ過ぎなので他にも良いモノがあるかもしれないと思って、近くのホームセンターで、丸山製作所の「スーパーフルオートローター M4」というのを購入してみました。（写真左上）「凄楽」はナイロンコードを繰り出す時に、地面に叩きつける方式なのですが、「M4」は全自動式です。全自動式というのは、「おまかせ」ということなので、自分の意志通りにナイロンコードが繰り出されるとは限りません。近所の人に同じタイプを使っている人がいたので話を聞きましたが、思い通りに繰り出してくれないので、いちいちカバーを開けて繰り出しているということでした。

面倒くさぁ～ダメだこりゃ！！と思ったので、「M4」の使用は止めて、「凄楽」の壊れた部品だけ購入するのも手だと思って調べると・・・有りました！が、しかし、価格がナイロンコード付きのセットとほぼ同じ価格なのです。半額くらいだったら買ったかもしれませんが、馬鹿らしくてポチッとする気になりませんでした。

叩いて繰り出す方式で「凄楽」とは違う製品を探していたところ、高儀の「斬丸」というのを見つけました。（写真では刈り払い機にセットしているモノ）なんと1427円という安さでした。「凄楽」の半値です。しかも、近頃では珍しいMade in JAPANです。使い始めて未だ数日なので、「凄楽」と比べて寿命が長いかわかりませんが、叩いて繰り出すという使い勝手は同じです。ただし、「凄楽」の凄く楽な点は、ナイロンコードを使い切った時に、カバーを開けなくても新しいナイロンコードを差し込んで補充することができることです。「斬丸」の場合は、ナイロンコードを使い切った時は、カバーを開けてナイロンコードを巻き付ける方式です。まあしかし、価格は魅力的ですので、少々使い勝手が悪いからと言って文句は言えません。

7月3日 白瓜を初収穫

5月11日に定植した白瓜の実が大きくなって食べ頃になったので、収穫しました。今も多数の実が着いてしますし、花が次々と咲くので、これからも次々と収穫できます。早速、夕食の一品として供されました。



7月4日 月面反射通信を行う場合に免許される空中線電力

月面反射通信を行う場合に免許される最大空中線電力は、次のJARLのHPに記載されているように、144/430/1.2GHz帯では500Wですが、5.6G/10GHz帯では2Wしか免許されないものだと思っていました。（https://www.jarl.org/Japanese/6_Hajimeyo/shikaku.htm）

このHPに記載されている法的な根拠が不明なので、鵜呑みにしていたところがありますが、JARLのHPに記載されているのだから間違いないだろうと・・・

2020年7月13日のブログに5.6/10GHz帯では2Wが上限だから・・・という旨のことを書いたところ、後日とある方から10GHz帯で300Wが免許されているのが現状最大という書き込みがありました。電波法令抄録（2022/2023年版）では見つけることができませんでしたので、総務省内の通達か何かが根拠になっているのかもしれません。

ひょんなことから令和5年3月22日に公布された総務省告示第77号にきっちりと明記されていることに気付きました。この告示は、平成21年総務省告示第127号を置き換えるものとして改正されたようですが、無線従事者の資格毎に詳しくアマチュア局に指定することが可能な電波の形式、周波数および空中線電力が記載されています。

1 アマで固定局の場合、10.4GHz 帯で月面反射通信を行う場合には 300W まで許可されることになっています。（別記 8）

また、免許状に仰角の制限が記載されている人が居たり、記載されていない人も居たりして、一体何故なのか？仰角の値も人によりまちまちのようなので、何が根拠になっているのか？と疑問を持っていましたが、告示第 77 号の別記を見れば周波数帯毎に仰角が制限されていることが分かって、目から鱗の感じです。仰角の制限について要約すると次の通りです。

1)50MHz/144MHz/430MHz 帯

制限なし

2)1.2GHz 帯

+6 度以上

3)2.4GHz 帯

+3 度以上

4)5.6GHz/10.4GHz 帯

+5 度以上

総務省告示 77 号のダウンロード方法については、7 月 1 日のブログに書いています。

7 月 5 日 占有周波数帯幅の許容値

令和 5 年 3 月 22 日に公布された総務省告示第 81 号で、占有周波数帯幅の許容値が改正されました。現時点で有効な平成 21 年総務省告示第 125 号は 9 月 24 日限りで廃止されます。

それほど大きな違いはありませんが、F1D や F1B は 2kHz から 3kHz に変わりました。私が最も注目したのは、告示 125 号の注 4 の規定がどのように改正されたのかという点です。注 4 は、次の電波形式に掛かります。A3F, A8W, C3F, C8W, D7D, F1D, F3F, F7D, F7W, F8W, G1D, G1E, G7D そして、注 4 の内容を手短かに表現すると、1.2GHz 帯, 2.4GHz 帯, 5.6GHz 帯, 10GHz 帯, 10.4GHz 帯では、前述の電波形式の占有周波数帯幅の許容値は 17MHz とする・・・というものです。JT65 や FT8 は、注記がなければ 2kHz とされていますが、注 4 によって 17MHz に拡大されるというものです。

この事について疑問に思ったので、1 年半程前に中国総合通信局の技官に、これは誤りか誤記ではないのかと電話で問い合わせたことがあります。ドローンの FPV（電波形式は F8W）などに利用できるようにする趣旨の規定であるとの答えでした。私としては納得できる答えではありませんでしたが、それ以上に突っ込んでも意味がないので、それっきりにしました。今回の法改正で、この誤りと思しき部分が是正されたかと思っていましたが、告示 81 号では、注 2 により 18MHz に拡張されており、注 2 が適用される電波形式は、A3E, B8W, D7D, F1D, F2A, F2B, F2C, F2D, F2E, F3C, F3F, F7D, F7W, G1D, G1E, G7D, F1E, F8W およびその他の電波形式となっていて、A1A 以外は何でも適用さ

れることになっているので益々意味不明です。

実は、スプリアス規制でいう必要帯域幅 (BN)は占有周波数帯幅の許容値が用いられることになっています。例えば、430MHz 帯の F1D は、告示 125 号では注 3 により 30kHz となりますが、告示 81 号の注 7 では同じく 30kHz となります。では、10.4GHz 帯で F1D のスプリアス測定をする際の BN はどうなるのでしょうか？ 18MHz ということになるのでしょうか？ 多分そうなんですよ？！

もう一つ、スプリアス測定については疑問（質問）があります。実は私のハム友が、1.2GHz 帯で 200W の申請を出したところ、落成検査でのスプリアス測定は無しとのことでした。一方、私は 430MHz 帯で 500W の申請を出していますが、落成検査でのスプリアス測定が有りとのことでした。どういう基準でスプリアス測定の有無が決まっているのでしょうか？ 総務省内部の通達か何かが存在しているのでしょうか

P.S.7月6日追記

本日、別件で中国総合通信局の技官と電話でお話する機会があったので、上記の疑問について質問したところ、次のような回答を得ました。総務省内の通達があって、200W 以下の場合スプリアス測定が免除されるとのことでした。但し、自作の場合はダメで、国内外を問わずメーカ製に限るとのことでした。10.4GHz 用の 200W 出力のアンプがメーカから販売されていれば、スプリアス測定は免れるらしいのです。

それに加えて、20W 以下については軽微な変更という規定が作用するような感触でしたので、IC-904 で免許を得た後で、自作のアンプで 20W にパワーアップするというのは有りかもしれません。10.4GHz 帯で 1.8m のパラボラアンテナなら約 42dB なので、20W もあれば余裕で月面反射通信できるのではないのでしょうか？ 先日 1st-ever-JA-OJ0 の QSO をされた笠井 OM は 1.8m ディッシュに 60W とのことでした。

7月6日 防除⑦・デラウェアと安芸クイーンの袋掛け

昨日は一時は土砂降りの雨だったので、アメダスの記録を見ると 28.5mm の降水量でした。これだけ降ればブドウ園の足元が緩んでいるので、スピードスプレーヤーでの農薬散布は難しいと思って動噴で散布することにしました。防除⑦は袋掛け直前にすることになっているので、オンリーワン(2000 倍)、ランマン(2000 倍)、ディアナ(10000 倍)の薬液を 100 リットル調整して、デラウェアと安芸クイーンの棚だけに散布しました。

朝 6 時頃からブドウ園に出勤したのですが、動噴のエンジンが掛からず苦労しました。以前から動噴の燃料タンクがサビていて、偶にキャブレータのあたりが錆で詰まることがあったので、今回もキャブレータを取り外してパーツクリーナーで洗浄したところ、エンジンがかかるようになりました。ガソリンを満タン近くまで入れておけばサビる可能性が低くなりますね。



デラウェアの樹は1本だけで、樹冠面積は36平方メートルです。殆ど全部の新梢に1房ずつ着房させていて約150房着けています。



安芸クイーンの樹は2本だけで、樹冠面積は144平方メートルです。1スパンに16房目安で着房させていて約380房着けています。

明日はピオーネの袋掛けをする予定にしているので、夕方にピオーネの棚の一部に防除⑦をしました。明日は午後から雨の予報です。雨が降ると袋掛けの作業は遠慮しようと思います。梅雨のこの時期には、作業したくてもできないということもままります。



7月7日 ピオーネの袋掛けを開始

昨夕に防除⑦を実施していたので、今朝は早朝から袋掛けをしました。二人で12時過ぎまでに4列分（約1000袋）の袋掛けができました。午後からは天気予報通り雨が降り始めました。これから二三日の間湿っぽい天気が続くらしいので、袋掛け作業は中断したままになりそうです。ピオーネとシャインマスカットと合わせて、14列分が残ったままです。困ったもんです。



7月8日 ピオーネを環状剥皮

今日は雨が降るという天気予報だったので、防除作業や袋掛けはしませんでした。代わりに、太陽光発電所の草刈りをしたり、ブドウ園に行って環状剥皮をしました。環状剥皮というのは、その名の通り、ブドウの幹の皮を環状に剥くのです。これによって、葉っぱで生成された栄養分が地中に還流されにくくして、ピオーネの場合、着色が良くなると言われています。昨年は、3本に環状剥皮を施して、何もしなかった樹と比べると確かに着色が良くなっていることが確認できました。今年は、昨年施さなかった無傷の4本に環状剥皮を施しました。環状に皮を剥くには、市販されている専用の刃物を使用しました。そのツールを使えば約5mmの様な幅で皮に切り込みを入れることができ、比較的簡単に作業できます。写真のように皮が剥けたら、その上からビニールテープを何回か巻いて保護しました。

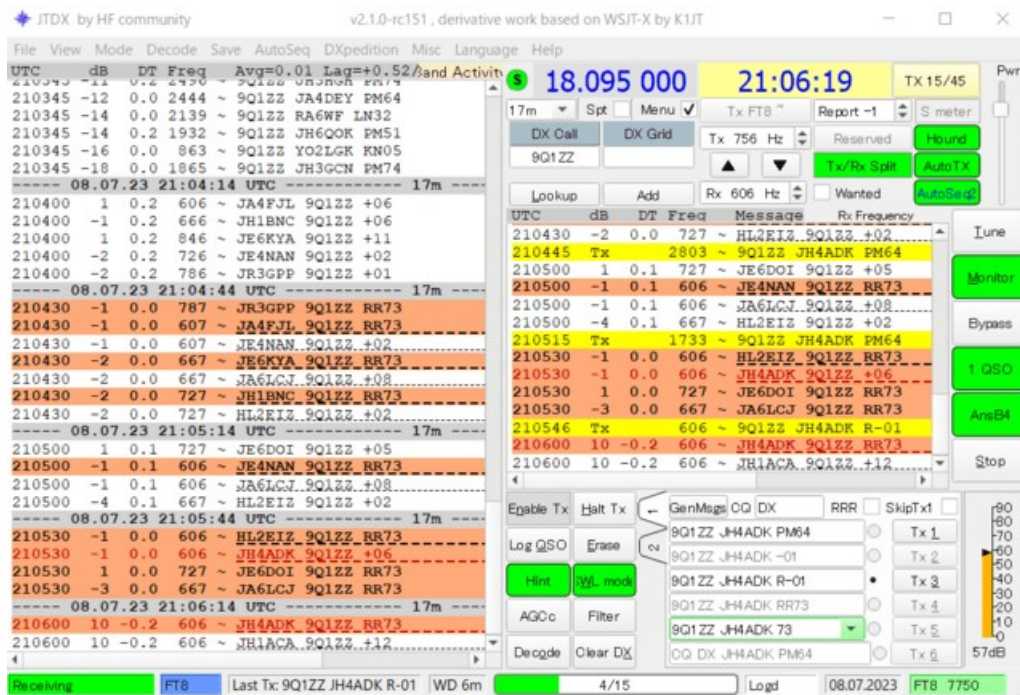


ピオーネの着色を良くするには、①枝管理を適切にすることが一番重要だと考えられるので、今年は、毎年遅伸びする棚の枝管理に万全を尽くしてきました。更に、遅伸びを抑制するために②フラスター液剤をSSで散布しました。それにプラスしての③環状剥皮です。さてどうなることでしょうか？

ピオーネが着色する条件として夏（硬核期から果粒軟化開始までの時期）の夜温が20℃以下であること・・・と言われています。つまり、これから2週間程の期間の気温が低ければ黒くなるでしょう。しかし、近年は地球温暖化の影響を受けていて、標高430mの高地にあっても、この時期の気温に夜温が20℃を下回るというのは最近では珍しくなってきましたので、あの手この手を使って色付きが良くなって欲しいと願っているのです。

7月9日 9Q1ZZ Zaire (コンゴ民主主義共和国)

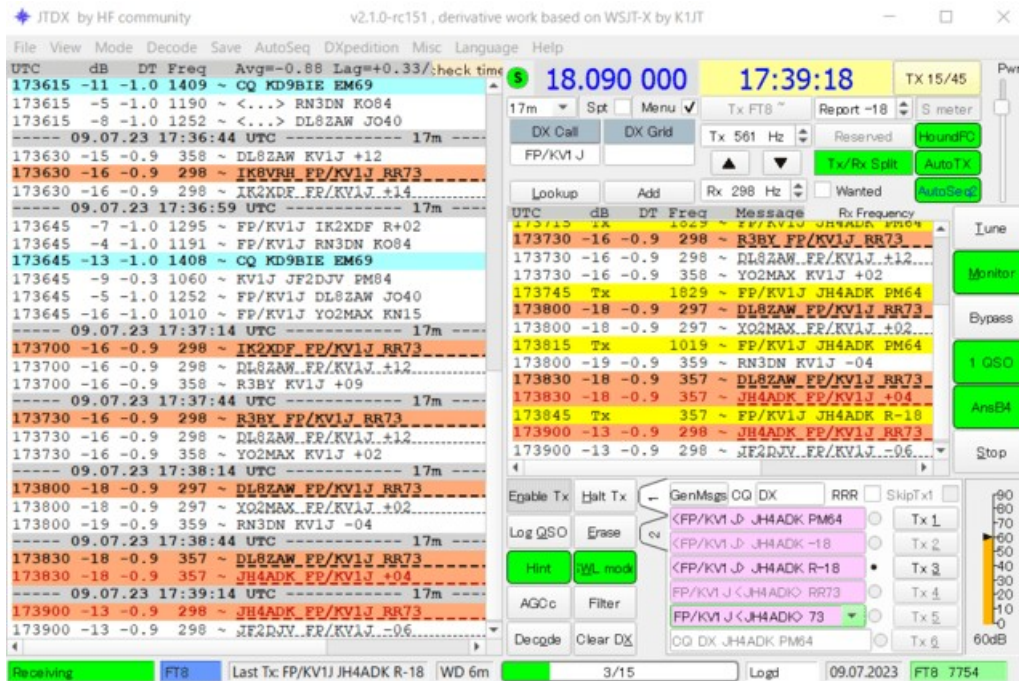
昨夜は9時頃就寝したので、否が応でも朝早く目が覚めます。9Q1ZZと9Q1AAの2つのコールサインでイタリアのチームがDXペディションに行っている筈なので、DXscapeを見ると未明の3時・4時台にスポットされていました。朝飯前に1つQSOしようと思って玄関の扉を開けると雨ザーザーだったので、朝食を先にしました。朝食後に再びDXscapeを見ると、18095HzでFBに入感しているとの書き込みがあったので、傘をさして無線小屋に行きました。FT8のF/Hモードだったので、呼ぶ局もそこそこ多かったのですが何とかQSOできました。久しぶりのバンドニューです。



7月10日 FP/KV1J Saint Pierre & Miquelon

近頃はぐずついた天気続きで農作業ができず、夜も早くから就寝すると夜中に目が覚めることが多いのですが、今朝は未明の2時半頃目が覚めました。トイレに行ったついでにパソコンの電源を入れて、9Q1ZZのアクティビティーを確認したついでにFP/KV1Jも確認したところ、FP/KV1Jが18090kHzに出ているという情報を得ました。無線小屋に行っても外れ！ということがあるので、VOACAPで伝播状況を確認したところ、この時間帯に17mは交信確率が80~90%と高いことが分かったので、懐中電灯を灯して無線小屋に行きました。

それ程強くはありませんでしたが、この時間帯に呼んでいる局は少なく、割と簡単にQSOできました。



LoTW ではFP とは 20m でのみコンファーム出来ているので、バンドニューをゲットできました。FP/KV1J は毎年のように夏のこの時期に DX ペディションに出かけているので、QSO できるチャンスを伺っていましたが、あまりスポットされておらず今回は見送りかなあ・・・と思っていましたのでラッキーです。

その後、無線小屋に 1 時間半ほど滞在して、9Q1AA を 15m(SSB)で呼んでいると、10131kHz と 7056KHz の FT8 に 9Q1ZZ が QSV しているアナウンスしていたので、30m に QSY しました。最初の内はデコードできましたが、その内に全く d コードできなくなりました。40m では最初からデコードできませんでした。

7月11日 ハイエースの雨漏りは修理できたけど塗装が剥げていて・・・

キャンピングカー（ハイエース）の屋根に取り付けた MAXXFAN のあたりで雨漏りしていましたが、この修理は完了しました。ブドウの袋掛けが終われば、鮎釣りの旅に出かける予定です。しかし、2009 年に購入したハイエースも経年劣化で、屋根の部分の塗装が剥げてきました。メタリック系の塗装なので、クリアコートが剥げて、表面がざらついています。丁度、夏に海水浴に行き日焼けした背中が剥けたような感じです。



ハイエースを購入した時に、屋根付きの車庫を建てようかとも思いましたが、建築費は掛かるし、固定資産税は掛かるし・・・ということで却下しました。14年経ってもこの程度ならOKでしょう。そろそろ買い替えの時期でもあります。鮎釣りに出かけるまでには修理したいと思って、塗料（スプレー）は用意していました。



先日、雨が降った時に野良仕事は休みにして、ハイエースの屋根をサンドペーパーで磨きました。最初は250番で磨き、次に400番で磨きました。雨降りだと、屋根の鉄板が熱くないのと、サンドペーパーで擦って生じた粉塵が飛散する心配がなくて良かったです。



サンドペーパーで磨いたまま放置するとサビてしまう心配があるので、早めに塗装しなければなりません。今朝6時半頃からブドウ園で防除作業をした後、薬液が乾いて袋掛けができるようになるまでの間に塗装作業をしました。



クリアを噴いた後でも表面は霜が降ったような感じでざらついています。鏡面のようになることを期待しているのですが・・・後日コンパウンドで磨いてみようと思います。

7月12日 太陽熱温水器設置計画

電気代が半端なく値上がりしているので自己防衛策として、太陽熱温水器を設置するつもりです。ソーラーパネル（太陽電池）と蓄電池設備の組み合わせが近代的なのかもしれませんが、価格が高いのと寿命がどうなの？という点で疑問符が付きます。価格が安くて、寿命が長いという点で太陽熱温水器（通称・・・天日風呂）を導入予定です。私のロケーションは寒いところなので、冬は凍結の恐れもあり天日風呂は使えないと思いますが、凍結の心配があるのは12月から2月までの3か月で、それ以外の月は凍結に関しては大丈夫でしょう。太陽熱温水器の方が熱効率という点では太陽電池よりも優れているようなので、太陽光を蓄熱してお湯として利用すると考えれば優れたエコシステムです。

農作業の合間にちょこちょこと裏庭に基礎（土台）を作っています。太陽熱温水器の設置工事はプロにやってもらう予定ですが、太陽熱温水器を設置する土台を単管パイプで自作する予定です。今日もブドウの袋掛け作業が終わった後で、基礎を2つ作りました。

素人とはいえ、水糸を張って、水盛り缶でレベルを見て、ベストを尽くして作業しています。



7月13日 安芸クイーンの棚下に光反射シートを敷設

天気予報によれば、9時頃から15時頃の時間帯に雨が降るということでしたので、袋掛けは断念して、代わりに安芸クイーンの棚下の草刈りをしてから光反射シートを敷設しました。朝7時頃から10時頃まで雨は降りませんでした。一瞬ですが、お日様が顔を出すこともありました。



安芸クイーンは赤ブドウと呼ばれる種類で果実が赤いのが特徴です。しかし、鮮やかな紅色に着色するには苦労というか、それなりの対策が必要なのです。それが、今回敷設した光反射シートです。この光反射シートはデュポン製の[タイベック WP400](#) というもので、割りと高価な資材なので、単年度で廃棄したりせずに毎年再利用していて、今年で3年目になります。

7月14日 シャインマスカットの袋掛け



今日は一日中曇りの予報でしたので、5時頃起床して朝食後直ぐにシャインマスカットの棚に防除⑦をしました。3時間も経てば少しは乾くと思い、その間にポリシャーを使ってハイエースの塗装後の艶出しをしました。今日の作業では未だ艶消し位の出来栄です。明日更に艶出しするつもりです。

9時頃からシャインマスカットの袋掛けを開始しました。袋数は約1100です。妻と二人で、午前中に2列、午後から2列の袋掛けを行いました。これで栽培しているブドウの袋掛けが全部終わりました。これで暫くの間はブドウのお世話はお休みできます。5月の連休後からずっと殆ど休み無しでブドウをお世話をしてきましたので、ちょっとしたブドウロスです。これでやっと鮎釣りに行けます！

7月15日 鮎釣行の準備

ブドウの袋掛けが終わったので、九頭竜川（福井県）に鮎釣りに行く準備をしました。

①アンテナを下ろしました。鮎釣りの期間中はアマチュア無線は休止するので、アンテナを下ろして雷や台風に備えました。



②ハイエースの艶出し。額の部分が禿げたので塗装していました。近所の自動車屋さんからポリシャーをお借りして艶出しを試みました。表面のザラザラはなんとか均すことができましたが、艶が出るまでには至りませんでした。一応ペイントだけはできたので、カッパをつけた程度にはカモフラージュできました。時間切れということで諦めることにしました。

③太陽熱温水器設置用フレームの基礎工事。予定していた5個の基礎（土台）のうち、最後の5番目を作りました。張っていた水糸などを撤去しました。今日は曇りの天気ながら暑い一日でしたが、これからもっと暑くなるので、鮎釣りに行く前にやっつけました。

④道具の準備。鮎釣りの道具だけでも沢山ありますが、キャンプ（車中泊）するための諸々の用品を準備しました。今日の九頭竜川は増水して水嵩が高いようなので、出発するのは明日の夕方にします。



7月16日 デラウェアの夏季剪定



デラウェアの満開日は5月29日だったので、既に45日以上経過しています。ブドウ園に行って、ブドウの粒を触ってみると弾力があります。つまり、果粒が軟化しているというわけです。果粒軟化していることを確認してから夏季剪定をしました。

安芸クイーンはどうか？と思って触ってみましたが、まだ硬いようでしたので、1回目の鮎釣遠征を終えてから夏季剪定したいと思います。その頃には、ピオーネやシャインマスカットも果粒軟化していることでしょう。

今夕出かける予定なので、トウモロコシを茹でて持って行こうと思って収穫しました。これで3回目の収穫です。適期に防除できたみたいで、アワノメイガの被害はありませんでした。

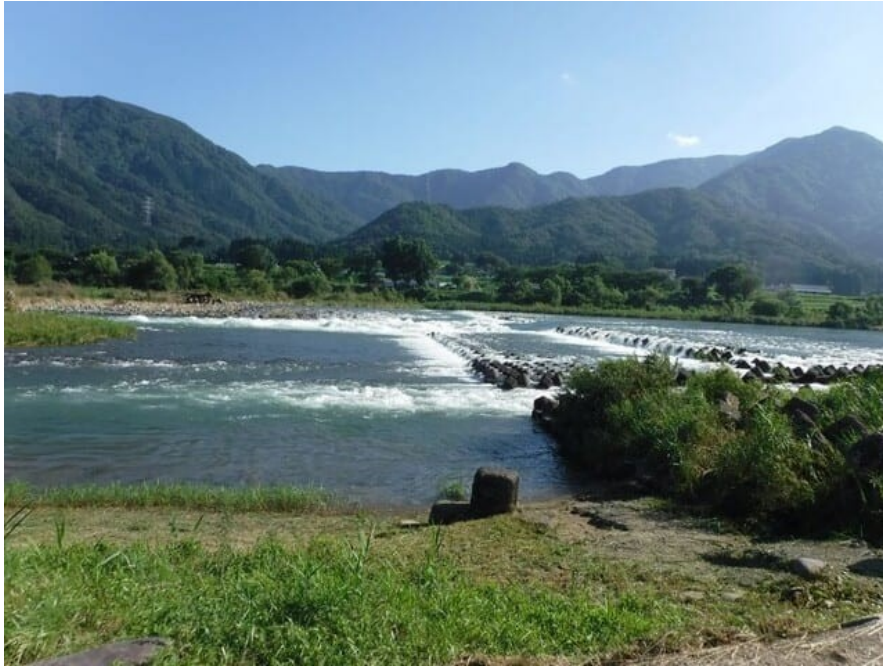


7月17日 九頭竜川キャンプ初日

昨夕6時頃家を出発し、岡山IC近くのドラッグストアで買い物をした後、岡山IC・播磨JCT・山崎JCT・吉川JCT・敦賀JCT・福井北ICという経路で永平寺町に朝6時頃に到着しました。モリイシ釣り具で年券とオトリを仕入れて飯島にやってきました。北島大橋近くの温度表示は27℃を示していました。水位は平水よりも20cm位高めで薄い笹濁り、水温は16.8℃でした。今日は祝日なのに誰も居ません。貸し切り状態です。

諸々の準備をして、竿を出したのは10時頃でした。今年初めての鮎釣り、仕掛けは車内に吊るしっぱなしにしていた鮎ベストの中に入っていたモノをそのまま使うという体たらくです。午前中の釣果は3尾でした。まあこんなもんでしょう。昼に川から上がる頃になって、飯島の左岸側の釣り人は私を入れて5人程でした。皆さんそれ程釣れていなかったようです。

午後になって師匠のMさんが来られたので、キャンプの準備をして、余りにも暑かったので、川に浸かって水浴びしました。本格的な夏です。多分、気温は35℃を越えているでしょう。午後になって風が出てきたので、オーニングの下でだべっていましたが、3時頃から川に入りました。午後になれば、掛かるかと思いましたが、ちっこいのが3尾程掛かっただけでした。これから1週間位は滞在する予定なので、オトリがつながる程度に釣れば良いのです。



7月18日 九頭竜川キャンプ2日目

午前7時頃の水温は17.4℃、正午頃の水温は19.2℃。快晴、水位は昨日とほぼ同じか少し高い位で、平水よりも20cm位高め。濁りなし。そろそろつれ始めても良さそうなものですが、まったく当たり無し。川辺に水遊びに来たと思えばなんちゃあ無いのだ！水遊びするには、適度な水温です。[5月29日のブログ](#)で紹介している、amazonで買った安物のフロート付きのベストの着心地はナイスでした。

キャンピングカーにオーニングは要らないという方もいらっしゃるようですが、私にとっては必需品です。夏の暑い日に河原で昼食をとる時などに車内というのはあまりに暑いので日陰が必要なのです。今回のMさんとの合同合宿のようにオーニング付きのキャンピングトレーラーと合体して、2つのオーニングを組み合わせると宴会場が出来上がります。同じサイズ（幅）のオーニング同志だと合体が困難ですが、私のは340cm、Mさんのは300cmなので、重ね合わせることができるので、雨が降っても合体部から雨漏りすることはありません。

今日はYoutuberの尺鮎師こと○藤さんと3人で宴会でした。昼は川で水遊びして、夕方は宴会するというのがマイスタイルです。

7月19日 九頭竜川キャンプ3日目

午前9時の水温は17.4℃、濁りなし、水位は昨日と同様で約20cm高め。天気は曇り時々雨。10時30分頃に猛烈な突風と雨でしたが、その後晴れ間が出て、また曇るという変化の激しい天気でした。

大水が出てから10日程経つので、そろそろ垢が着いてきたのか、やっとなつ抜け（10以上）できるようになりました。

キャンプと言えば、自炊です。今夜のメニューは「もつ鍋」です。ホルモンに牛肉、ニラ、もやしなど・・・4人分の胃袋を満たすにはコンロ1台では足りないのでは、2台でやりました。



7月20日 九頭竜川キャンプ4日目

朝目覚めると水位が昨日よりも約10cm下がっていて、ほぼ平水に近い位になっていました。いいなあ・・・と思って水温を測ると15℃低くて、温度計が壊れたかと思いましたが、川に入ると案の定、水が冷たくて鮎の活性も悪く、釣果はあがりませんでした。これで、水温が上がると、垢も着いてきたので釣れるようになると思うんですが・・・



7月21日 九頭竜川キャンプ5日目

午前8時の水温は18.6℃、水位は平水より約10cm高、濁りなし、天気快晴。苔が着き始めて、水温が高くなったので、ポチポチ釣れるようになりました。



7月23日 九頭竜川キャンプ7日目

早いもので今日でキャンプ7日目になりました。日曜日なので、大勢の釣り客で賑わっていて、ポイントを見つけるのに苦労しましたが、午前中に入れ掛かりになりました。折角のチャンスなので、昼食は後回し、釣り優先です。川から上がったのは1時頃でした。水温が高くて鮎の活性が上がったのでしょう。ちなみに、午後2時の水温は20℃でした。

釣り客の多くは遠くから遠征してきたサラリーマン釣師なので、3時頃になると釣り場はガラガラになりました。多分35℃を越える猛暑日だったので、長めの昼休みの後、3時頃から午後の部はスタートしました。夕方にも沢山の鮎が釣れました。今日は沢山の鮎が連れて大満足の日でした。

7月24日 九頭竜川キャンプ8日目

水位は減水よりも約10cm低く濁りなし。天気は快晴で、猛暑日。午前7時頃の水温は18.4℃。

今日も釣れるだろうと思って、流れの速い処を攻めましたが、釣れる鮎が昨日よりもサイズダウンしていて、オトリにならないという状況が続き、釣果はイマイチでした。鮎釣りは循環の釣りと言われており、好循環だと良いのですが、悪循環だと最悪です。循環が一旦途切れるとイケません。

昼間は暑いので、オーニングの下で、お土産にならない小鮎を一夜干しにするために下ごしらえしました。夕方は早めに上がって、鮎の天ぷらを作って舌鼓を打ちました。鮎釣りに来て、新鮮な鮎の天ぷらを食すのは至福のひとつです。



7月25日 九頭竜川キャンプ9日目

午前7時の水温 19.0℃、水位は平水よりも5cm位低め、濁りなし、天気は快晴、午前中は風もなく釣り頃でしたが、正午過ぎから風が出始めて猛暑日になりました。釣果はボチボチでした。



7月27日 九頭竜川キャンプ11日目

昨日よりも更に減水して平水よりも約10cm位低めで濁りなし。午前7時の水温は約20℃。午前中に中島に釣りに行きましたが、釣果なし。午後からキャンプの撤収作業をして、午後4時頃には帰路に就きました。明朝には自宅に帰着予定です。11日も居ると、あまり釣れなくても冷凍庫は一杯になりましたし、少々鮎釣りにも飽きてきました。

7月28日 ブドウの夏季剪定（安芸クイーン）

今朝、九頭竜川キャンプから帰ると早速ブドウ園に出かけて、果粒軟化の状態をチェックしたところ、安芸クイーン、ピオーネ、シャインマスカットのいずれも果粒が軟かくなっていました。長くなった新梢や副梢を切除することができるというサインです。ブドウの蔓を伸び放題にしておくのは宜しくないのです、夏季剪定と称して綺麗に切除することが推奨されています。伸びないのが一番手入らずで良いのですが、どの品種も伸びています。しかし、フラスター液剤が効いたのか、シャインマスカットと一部のピオーネの棚は、昨年ほど伸びていないようなので、少し楽になりました。

先ずは、満開日が一番早かった安芸クイーンから夏季剪定をしました。



今日はとても暑かったので、午後は昼食後から4時頃まで昼寝しました。4時頃から灌水しながらピオーネの外周部だけ夏季剪定しました。明日は早朝の涼しい内に重点的に作業したいと思います。

7月29日 ピオーネが色付き始めました

今日はピオーネの夏季剪定を始めました。日中は暑いので、作業時間は早朝から12時までと4時から6時頃までとしました。ピオーネの夏季剪定をしている時、袋を掛け忘れたピオーネの房がありました。色が着き始めていることが良く分かります。



7月30日 モモの収穫とアナグマの捕獲

朝一番の涼しい時間帯にモモ（白鳳）の収穫をしました。写真は袋掛けを忘れた（しなかった）モモなので、赤く色付いています。趣味で自家消費するために栽培しているので、赤くても大丈夫です。却って、袋掛けしない方が傷や腐れなどを確認できるというメリットがあります。樹を小さく（低く）作っているのに、袋掛け作業が苦痛なので、来年は袋掛けを止めようと思います。袋掛けの後で生理落果した果もあり、それはハズレですから、何のための袋掛けなのかと思うのです。赤く色付いた正常な果だけが残って、それを収穫できれば良いのです・・・と思う今日この頃です。



モモが熟すのを待っていたように、アナグマがやってきて落ちたモモを食べているのを確認していましたので、罠を仕掛けていました。昨日の朝は、罠に仕掛けたモモがまんまとアナグマに食べられていました。トリガーのフックにモモを突き刺していましたが、モモが熟していたので自然に落下したのでしょう。それを防ぐために、モモをネット状の袋に入れてトリガー部に吊るしていたところ、今朝は2つの罠に1頭ずつアナグマが入っていました。今年は4月以降に猿が1頭も捕獲できない状態が続いていたので、このアナグマ達は私にとって、貴重な「有害鳥獣駆除」の実績になりました。有害鳥獣駆除の実績があれば、今年度の狩猟登録税が半額免除になるので、とても貴重なのです。昨年までは、アナグマを捕獲しても町に届け出ることはしませんでした。先々の事情により早急に届け出たいと思います。



7月31日 ビニールの妻側を解放

暑い日が続くので、ブドウ棚に張っているビニールの妻側を解放しました。少しは暖気が妻側から逃げてくれるでしょう。九頭竜川キャンプから帰って、ずっと毎日夏季剪定をしています。まだまだかかりそうです。夏季剪定が終わったら・・・と思っていましたが暑いので日中は休んだりすると思うように作業が捗りません。困ったもんです。

